



育ネットつなん

津南町教育委員会

育ネットつなん事務局



『強くてやさしい子』の育成を目指して

芦ヶ崎小学校校長 丸山 浩市

津南町子育て教育プランでは、子どもの目指す姿を「自分で自分の生き方を切り拓く強くてやさしい子」と定め、育ネットつなんの4部会が連携しながら、それぞれ特色ある教育活動を展開しています。夢や目標をもって粘り強く努力する「強い子」、相手の立場を思いやって行動する「やさしい子」を育成するためには、自然や人との触れ合いを通しながら様々な体験を積み重ねていくことが重要です。地域の「ひと・こと・もの」を活用した体験的な活動を重視し、その充実を図るよう取り組んでいます。

当校では、『龍ヶ窪クリーン作戦』、十日町健康福祉事務所・十日町博物館友の会・野鳥研究グループの方の協力による『探鳥会』、JA津南・谷内山間地事業の方の協力による田植え・稲刈りといった『どろんこ体験学習』など、地域の豊かな自然や人材を活用した活動、地域の文化や歴史に関わる活動に力を入れて取り組んでいます。

さらに、1、2年生の生活科、3年生から6年生の総合的な学習の時間を中心に、各教科・領域等の学習でも、体験的な活動を積極的に取り入れ、実践しています。

*** 1・2年生**

「なじょもん」探検や、地域探検（大聖寺、おうちカフェ等の訪問）を通し、地域を知るとともに、地域に愛着を持つ。

*** 3・4年生**

ジオパーク推進室の方からの講話、石落とし・沖ノ原遺跡見学、他地域のジオパークとの比較等を通し、苗場山麓ジオパークの特色を詳しく調べてまとめ、地域の素晴らしさを知る。

*** 5・6年生**

職場訪問を行い、地域で活躍する若い世代の方から話を聞き、地域や自分の未来を考え、提案する。

当校の児童は保護者や地域の方の協力を得て、仲間と協働して行う体験的な活動に生き生きと取り組み、地域の良さに気付き、誇りに思うとともに、地域の役に立つことに喜びを感じている様子が見られます。こうした体験を積み重ねていく中で、地域や自己の未来を考え、発信する経験を通し、地域や自己の将来を切り拓いていける人材を育てたいと考えています。

探鳥会



龍神太鼓練習



沖ノ原遺跡見学



『苗場山麓ジオパーク』活動の取組

津南町教育プランの「共通実践事項」の中に、「郷土愛を軸としたキャリア教育と苗場山麓ジオパーク関連活動をつなぐ取組を工夫する。」とあります。このことを踏まえて町内の保育園や小中学校は「ジオパーク学習」に取り組んでいます。

今回は、町内の保育園が取り組んでいる「ジオパーク学習」についてご紹介いたします。

「葉っぱからトマトの匂いがあるね！」
「横芽は摘むんだよ。」
若い保育士が学んだこともすぐに子どもと共有します。



自分たちで種をまき、苗を植え、収穫までを経験します。
土、水、太陽の大切さを学び、美味しくいただくまでが大事な体験となります。



馴染みの林でも、日々、違う発見があるのが自然の素晴らしさ!!
いつも新鮮な発見があり、仲間との学びあいにつながります。

友だちと一緒にやると楽しい〜!



きたろうの森で遊んだよ!

お化けだそー



朴の葉で遊んだよ! 大きな葉っぱでお化け!



どろんこ遊びや泥団子づくりに「良質な赤土を求め」と玄関に貼ったポスターを見て、保護者の方が届けてくださいました。
『泥の感触、なめらか〜!』



色つきの水で絵を描いてみました。冷たい氷に気持ちよさを肌で感じています。



よし!! みんなで力を合わせて運ぶよ!!



毎年、七夕の笹竹をもらいに地域の方のお宅に行きます。お巡りさんにも見守られながら保育園まで笹竹を運びました。餅つき会にはおいいただき、地域の方とのつながりを大事にしています。

林の中は、鳥の声が聞こえ、足取りも軽くなります。五感が刺激される素敵な空間です。
散歩中、露を採っていた地域の方に会い、元気に挨拶。おすそ分けをいただき傘のように頭にのせて嬉しい交流のひと時でした。



「おたまじゃくしいるかな・・・?」
身近なところでジオ体験。

「散歩中に発見ー! やぶこぎー!」
身近なジオで新しい発見ができます。



自分たちが育てた朝顔で色染めをして、ピンクの和紙で朝顔を作りました。花を使って遊ぶ面白さを感じています。



プール遊びを経験して、砂場でプールを作りました。砂で形作る面白さを感じています。

散歩や畑作業、また、日々の活動の中から自然に触れることで、『身近な津南のジオ』を体験しています。



風の心地よさや桜の花に触れる体験を通して豊かな心を育みます

子どものかかわり方



臨床心理士 鳥居 美枝

今年に入り、新型コロナウイルスや自然災害など、不安を感じる毎日が続いています。まだまだ暑い日も多いですね。「寝苦しい。」「食欲がない。」「寝ているはずなのに疲れがとれない。」と感じる日もあるでしょう。それに加えて、「最近はなんだかイライラする、やる気がでない、落ち着かない。」というような感じになることはありませんか？

テレビや新聞等で、コロナ関連の情報や災害の映像が流れたり、子どもたちを巻き込んだ事件・事故などのニュースを聞いたりすると、とても心が痛みます。



子どもたちは、認知的にも情緒的にも発達途中段階であるため、新型コロナウイルス感染症、災害、事件・事故などが起きた際は、家族や身近にいる大人のサポートが必要です。お子さんの発達や理解に合わせ、正しい情報を伝えるよう心掛けましょう。



お子さんの様子はどうでしょう？

頭痛や腹痛、不眠、食欲不振などの身体症状や、いつもより泣いたり、大人にしがみついたり離れなかつたりする、というような様子はみられませんか？
こんな時は、皆さんのこころとからだ、いつもとはちょっと違う感じ（「ストレス」）になっているかもしれませんが、それはこころとからだに表れる自然な反応です。
そこで、そんな時には、ご家族みんなでこんなふうに過ごしてみるといいよ
ということをもとめてみました。

* リラックスする時間を大切にする *

「好きなことをして過ごす時間」はこころとからだを安心させてくれます。短時間でいいので、お子さんと一緒にホッとできる楽しい時間を過ごしてみましょう。深呼吸（腹式呼吸）やストレッチもおすすめですよ。

* 生活のリズムを大切にする *

3食きちんと食べて、お風呂に入って、ぐっすり眠ることです。毎日同じリズムで生活していると、自然とこころとからだも安定していきます。ちなみに・・・

- ・朝食はご飯に魚とお漬け物が良い
- ・入浴は疲労するが入眠を早め眠りを深める
- ・義務教育期に必要な睡眠時間は8～10時間

健康的な生活習慣はストレスに強い子を育てます。

お子さんと一緒に、おうちのかたも心がけてみてはいかがでしょうか。



* 自然と触れ合う *

大自然は、私たちのこころとからだを癒やしてくれます。津南町は自然溢れる豊かな町です。ぜひ、ご家族でジオパークを巡り、『津南の自然』に癒やされてみてはいかがでしょうか。

何か新しい発見があるかもしれません。